

水と環境

～環境と全体コストを考えた清掃方法の見直し～

全国のビルメンテナンス業界の総売上高は、年間約**3兆4千億円**です。（社団法人全国ビルメンテナンス協会のデータを引用）
その中の約60%が、一般清掃業務にあたります。弊社は一般清掃業務の中でも、最も重要で手付かずな部分である『建物内の床清掃』に絞り、改善方法をまとめました。

床汚れの85～90%は、靴底に付着した汚れが原因です。

一般的な清掃方法はまず入口にレンタルマットを設置します。

しかし、そのマットが靴底の汚れを取り除けるのは、全体の30%以下で、ほとんどの汚れは建物全体に拡散された後に、床清掃で取り除かれます。

人が歩けば床が汚れるのは当然ですが、汚れを建物全体に拡散された後に取り除く為清掃面積が増え、その結果清掃時間は大幅にかかり床材へのダメージも大きいのです。

また 清掃では大量の水（資源）・電気（エネルギー）・ケミカル洗剤（環境負荷）を使用して、大量の汚水を排水口へ流します。
現在の清掃方法で重要な問題点は、環境に負荷をかける清掃方法を行なっていることです。

弊社は、現在の清掃方法を根本から見直すことが環境負荷の低減、さらに清掃コストの削減に繋がると考えております。
これから ご紹介する清掃方法は、エコロジ先進国のヨーロッパでは すでに行なわれています。

大きく違う点は、

日本・・・汚れの大半を「床清掃で取る」

ヨーロッパ・・・汚れの大半を「マットの上で取る」

※この清掃方法は、環境対策と全体コストの削減が可能となり、会社の利益を増やします。

【 日本の清掃方法 】

第1位 頻繁に洗うマット（日本のレンタルマット）を使用しているが、
靴底の汚れの大半は床清掃で取る 清掃方法

第2位 靴底の汚れの大半は床清掃で取る 清掃方法
（マット未使用）

第3位 頻繁に洗わないマット（買取りマット）を使用しているが、
靴底の汚れの大半は床清掃で取る 清掃方法

※上記の清掃方法は全て靴底の汚れは**床清掃**で取り除く方法です。

【 弊社の御提案（ヨーロッパの清掃方法） 】

清掃方法 頻繁に洗う必要のない性能の高いマットを使用して、靴底に付着した汚れの大半をマットの上で取り除き、
すぐに回収する清掃方法です。

※床材を汚さない発想が結果、日常清掃の時間短縮と定期清掃の回数を減らします。

メリット ■ 毎日の清掃面積が減る（日常清掃の時間短縮）

■ 床が汚れなくなる — 床材の寿命が延びる（床改修工事費節減）

— 雨天時転倒事故防止（スベリ事故の減少）

— 定期清掃の回数を減らす（コストの節減）

■ 環境負荷対策 — マットの交換・車による配達不要（CO²）

— マットの水洗いを減らす（資源）

— マットを洗う工場の機械・照明・空調の電気量を減らす（エネルギー）

— マットを洗うケミカル洗剤を減らす（環境負荷）

— マット洗い・床清掃で出る汚水を減らす（環境負荷）

— 定期清掃時の専用機械に使用する電気量を減らす（エネルギー）

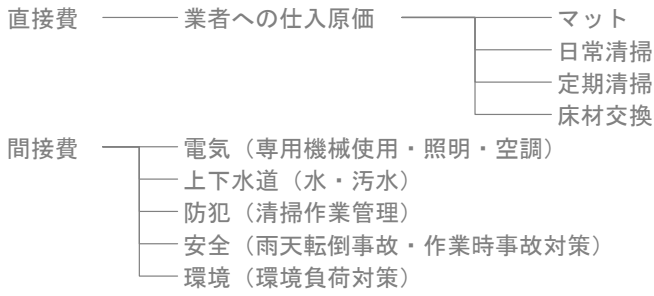
— 定期清掃の回数が減る為、照明・空調などの電気量を減らす（エネルギー）

■ 衛生的な空間のアップ

■ 企業のイメージアップ（環境負荷の低減対策取組み）

これからの清掃方法は、
環境問題を考え、全体コスト（原価）を見直すことが社会的責任になります。

【 全体コストの内訳 】



※ 全体コストには、直接費と間接費がありますが、大半の発注者は直接費を重視します。しかし、間接費にかかるコストは年々上がっています。中でも環境対策は重要課題です。

弊社では
現在の清掃方法を見直して頂く活動を続けていくことが、環境負荷を低減させ地球環境に大きなプラスとなり
社会に貢献できると考えております。